

会 議 録

1 会議名

令和5年度第9回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・板倉保養センターの今冬の営業について（公開）

○協議事項

- ・地域協議会活動報告会について（公開）

○自主的審議事項

- ・廃校した小学校の維持管理と利活用について（公開）

○その他

- ・板倉まちづくり振興会と地域協議会の意見交換会について（公開）

3 開催日時

令和5年12月21日（木）午後6時00分から午後7時14分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、小林次長、清水教育・文化グループ長、高橋建設グループ長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・ 会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・ 挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・ 挨拶

【平井会長】

- ・ 条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・ 会議録の確認を秋山委員に依頼。

4 報告事項 板倉保養センターの今冬の営業について事務局に説明を求める。

【関根産業G長】

- ・ 資料1に基づき説明

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。質問、意見のある方は挙手を求める。

【庄山委員】

1月10日からとしたのは正月、年末年始はお客さんがある程度来るといふことを見込んでのことか。

【関根産業G長】

年末年始についてはお客さんが来ると思われる。やはり、1月15日あたりから一番冬の影響を受けると思われるので、この期間あたりから毎年設定をさせてもらっている。

【小林委員】

先ほどの説明で理解はできるが、コロナの感染症の影響が小さくなってきている現状であるし、先月の説明の中では宿泊利用者も増加に転じてきているという状況を踏まえるならば、今まで通りのやり方ではなく指定管理者も変わったことであるし、収支の改善に向けて努力して欲しいということで意見を申し上げる。

【関根産業G長】

ネクストリゾート（株）においては、経費の縮減について灯油の共同購入など

を行いコストの削減を行っている。また、購入に際してもコストの比較や推移等を情報収集して適切な時期に灯油を購入するような経費の節減、電気についてもLED化を推進して経費を節減しているが、昨年光熱水費の補填がやすらぎ荘の場合は150万円ほどあったので、そういった実績もあり今年についてはまず例年の内容で休館日を設定し、指定管理者と協議が整ったので、この内容でご理解いただきたい。

【古澤総合事務所長】

今ほどの小林委員の意見はごもっともな意見だと思う。経費削減だけが目的ではなく、いかにお客さんを増やしていくかということが基本だと思っている。貴重なご意見として承らせていただき、いかにお客さんから来ていただけるような方策を講じていくかということを変更して協議していきたい。

【田中委員】

地域おこし協力隊の話では寺野遊雪まつりで花火を継続してやりたいとのことであったが、もし花火大会をやりたいということであれば、ちょうどこの休む期間に該当するが、そうすると営業をしてもらわないとまずいのではと思うが、その花火の話はどうなっているのか確認したい。

【手塚委員】

2月11日にイベントを行う予定である。12時からイベントを始め、いろいろなイベントの内容があるが、最後に夕方6時に花火を上げる。その花火も今までは地元や企業から寄付を募り運営していたが、なかなか厳しい時世でもあるので、今回は寄付の方をやめ、農業振興会の方の補助事業で対応するという事で、それほど潤沢な経費は盛り込めないで、いつも8月に青年会がやすらぎ荘の方で上げている花火の規模を考えている。今言われたように、その時にやすらぎ荘の広間でお風呂から上がり、花火を見られるということができればいいのかなと思っている。

【関根産業G長】

営業は祝日もすると記載されている。2月11日は祝日であり営業する。ネクストリゾート（株）からの中間報告では、寺野の雪まつりについては参加協力を検討するという事で報告を受けているのでそのような対応がなされると思う。

【植木委員】

先日筒方の新そばまつりに行ったが、高校生ボランティアがたくさんいて華があった。どなたのアイデアなのか。寺野の場合はどうか。いろいろなかたちで今後のこともあるので学生さんを引き込むようなイベントを考えていただけたら。

【長藤委員】

ボランティアについては総合事務所で募ってもらったと思う。

【小池地域振興班長】

上越市では中山間地域支え隊という企業や個人のボランティアの登録制度があり、地区や町内会のイベントなどにボランティアの要望があった場合、登録者に案内を出してボランティアを募ることは出来る。今回はたまたま高校生を希望したわけではなく、筒方のそばまつりということで募集をかけたところ高校生以外にもいたが、多くのボランティアが集まったということである。

【池田委員】

ボランティアが来ていただいて大変助かった。私たちも元気をもらった。

【手塚委員】

2月の寺野遊雪まつりも総合事務所においてボランティアを募っている。できれば、若い学生が来ていただけるとありがたい。

【小池地域振興班長】

筒方のそばまつりは、ボランティアにはそばを提供するというので募集をかけたところ、多くのボランティアが昨年に引き続き集まった。そういった募集のかけ方もあるということで参考にしてほしい。

【平井会長】

他にあるか。

(特になし)

なければ、次に5協議事項 活動報告会について事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料2に基づき説明

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。質問、意見のある方は挙手を求める。

(特になし)

なければ、事務局案どおりとする。

次に6自主的審議事項 廃校した小学校の維持管理と利活用について事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料3に基づき説明。

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。前回の会議で私の私案を述べたが、その後会長、副会長、事務局で原案を作成した。質問や意見がある方は挙手をお願いする。

【庄山委員】

おおまかにはいいのではないかと思っている。ここに書いてある利活用したい人が活用しやすい仕組み作り、市独自の支援策を考えるということになっているが、廃校の小学校については前から釈然としないことがある。旧筒方小学校は普通財産になっているが、その辺の行政の枠のはめ方、縛りが結構あるので、その辺がもっと弾力的にできないのか。このように使いたいと提案しても、こういった縛りがあってだめといわれると、知恵を出して提案しても俎上に上がってこないということになってしまう。その辺は行政としてどうなのか。

【古澤総合事務所長】

廃校の利活用については、いろいろな制度的な縛りがある。そういったものを含めて、市全体の対応として使いたい人が使いやすくできるように、これから廃校が増えていくので、それをどのように使うかという、まず行政機関といった順番があるが、地域でこういう使い方したいといった場合、その人たちが使いやすいような制度設計をしてほしいといった意見書となっている。板倉だけでなく市全体の課題であり、市が本気になって考えていかないといけない課題と思っている。

【庄山委員】

よく話を聞くが、この建物は文部科学省の補助で建てて使い方が限定されてい

るといふのがあつたが、こちらでこのように使いたいと話をしたときに、このような枠があつてだめだと、そこで初めて縛りが出てくる、そういうのをずっと見せつけられると、空いている校舎があつてもだめだとなつてしまふ。全国や他の市で、体育館で野菜を栽培してたり、教室で魚の飼育をしていたりというところもあるようだが、その辺市としてももう少し使いやすくなるような仕組み作りを考へてもらわないといけなひ。いつまで経つても空いているだけとなつてしまふ。

【小林委員】

長年の懸案事項なので問題提起するのはいい機会と思ふ。他の地域でも出てくるが、制度設計の前に行政の中で教育委員会や資産活用課などでの利活用についての部門間協議に多くの時間が掛かりそんな感じがするが、スケジュール的には、すぐ回答が出るかたちではないと思ふがどのような感じとなるのか。

【小池地域振興班長】

地域協議会から意見書が出された場合はおおむね1か月程度で回答が行われる。細かな対応スケジュールなどは示されなひと思ふが、基本的な市の考へ方や姿勢はそこで回答されると思ふ。

【古澤総合事務所長】

補足させていただく。廃校の活用については議会の一般質問でもあるが、答弁としては地域の皆さんと話し合いをしながら活用を検討していくという内容が多いが、実際課題として小林委員が言われたとおり、市でも担当が分かれているので、今回回答書を作るにあたり私達も協議に入りながら、今皆さんからいただいた意見は、現場の声ということで伝えたい。実際廃校の利活用についての意見書の提出は板倉区が初めてなので、これを機により深く議論していく形になると思ふので、1か月後の回答書については細かいところまで出なひかもしれないが、今の委員の皆さんの声は伝えていきたいと思ふ。

【平井会長】

今所長から話があつたとおり、上越市では廃校が数か所あり、これからも出てくる。そのような中で、前回も話をさせていただいたが、板倉区が初めて意見書を市に提出するといふかたちになる。これについては、非常に大きな問題であ

る。今小池班長から説明があったが、だいたい1か月で回答が返ってくるということだが、内容的には我々が意図する最終的な姿というのはなかなか見いだせないと思っている。しかし、意見書を出すことによって布石を打つということになるので、非常に大事なことだろうと思っている。できるだけ板倉区の意見、地域協議会も含めて生の声として何とか解決するようお願いしたい。

この件については以上とする。次に7その他に移る。板倉まちづくり振興会と地域協議会の意見交換会について事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料4に基づき説明。

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。この件については、前回会議で報告したが、11月14日に板倉まちづくり振興会の役員と板倉区地域協議会の私と古川副会長及び事務局で懇談会を行った。そこで振興会と地域協議会が地域のために連携していくことを確認し、振興会の役員の皆さんと地域協議会で意見交換会を行うことで合意したことから計画されたものである。1時間の意見交換を行ってから、会場を移動して懇親会を予定したので、それも含めて事務局から案内を出してもらおうので皆さんの参加をお願いする。

【田中委員】

主催は市なのか。メインは自転車まつりとなっているが、これの成功に向けて一緒になって体制づくりをしていきたいということかなと思うが、標題が意見交換会なので目的が少しずれているのかなと思ったのと、遑って恐縮だが3月の活動報告会があったが、これもメインは活動報告がメインなのか来年の地域協議会の改選についてメインなのか、それと地域独自の予算の活動報告会があるがこっちがメインなのかという気がするし、地域協議会の4年間の活動報告会というのは、前回もそのようなものはなかった気がする。要するに地域活動支援事業の報告会がなくなったので、それに代わるものをやりたいのかなと、メインの動きが分からないので説明をお願いしたい。

【小池地域振興班長】

1月26日は総合事務所が主催である。地域協議会の会長副会長と振興会の役

員との懇談会の中で決まったことであるが、そこをつなげたのは総合事務所なので今回は事務所主催で行いたい。意見交換会をしましょうと決めたが、そこで何かテーマがないと話が進まないというのがあり、懇談会の中で、同じ方向を向いて何か取り組むということであれば、来年度自転車まつりが予定されている中で内容は皆さんも全く分かっていないと思うので、現時点で決まったところだけでも実行委員長から説明していただき、一緒に連携をして理解を深めようということになった。振興会の方もテーマがないと何を話したらいいか分からないということであったので、今回このように設定させてもらった。

活動報告会については4年前にも地域協議会の総括というようなものでやっている。今までは地域活動支援事業があったので、その4年間の活動報告の後に、次年度の地域活動支援事業の採択方針について説明をしたり、取り組んだ団体から発表してもらったりと中身の大きなものやっていて、28区すべてで活動報告会を行うということになっている。4年前のものを確認したところ、各部長からも一言もらったりだとか、地域活動支援事業の採択方針検討会の方からも話をしてもらったりしていたが、事務局と正副会長と話をさせてもらい、そこは短時間で活動報告会と委員改選の説明は終わらせて、それだけだと市民の方に案内を出してもなかなか集まらないだろうということで、地域独自の予算事業を各団体でやっているのもっと皆さんから関心を持ってもらいたいということで続けて地域独自の予算の報告会も設定させていただいた。

【長藤委員】

次回の時でいいので、資料4のところにグループに分かれてと書いてあるので、我々はどのようなグループ分けで、どのような項目に関して意見交換するのか、分かっていないと準備もできないので次回の時で構わないので示してもらいたい。

【小池地域振興班長】

この内容で固まったら、皆さんの方に示したいと思っている。何人集まるかも分からないので、1グループ何人になるかというのもこれからになる。19日の次の協議会までには班分けなども決まってくる。テーマは自転車まつり成功に向けて地域でできること、とても大きなテーマであるが、そこで何かを決めるとい

うことではなく、皆さんが自転車まつりを理解して共通認識を持っていこうという意識が作れたらいいと思っているのでご協力をお願いします。

【古澤総合事務所長】

意見交換会は総合事務所の方できっかけを作った。その内容としては板倉まちづくり振興会、地域協議会の皆さんが地域振興、また板倉区の将来を担っていくための議論をしていく両輪である。その組織の両輪が力を携えて板倉区の将来について議論をしていかななくてはいけないと私は強く思っている。そのためにはまず議論をすることからスタートすることが必要であると思っていて、そこは総合事務所も入って話を進める中で、例えばだが少子高齢化や農業の関係などいろいろな課題があるが、そういった課題にテーマを絞って議論を進めていてもなかなか建設的な意見が出にくいのかなということもあると思う。まず話し合いする土壌を作るには板倉区の将来を見据えた、そういった大会をこれから計画していくので、まず来年の第1回大会の成功に向けて地域では何ができるのか、どういった支援ができるのか、どういったことを目指していくのかというのを、いろいろな意見をいただきながらやっていきたいと思う。実行委員の想いも伝えながら、地域の皆さんの意見もいただきながら、みんなで作り上げていくという意識で参加するので、そういった話し合いをするスタートの場ということで、今回設定させていただいたことを理解いただきたいと思いますし、また、これがスタートとなっ

ていろいろな課題に対して意見交換ができる場を作っていきたいと思っている。

【平井会長】

他にないか。

【庄山委員】

来年の地域協議会の課題になるのかと思っているが、市議会です約型コミュニティバスを拡大するという答弁があった。来年が浦川原区と大島区で始まり、次の年は板倉区だという話があった。新しい地域協議会委員に頑張ってもらいたい。

【小池地域振興班長】

公共交通については、前回会議で古川副会長から板倉地区公共交通懇話会の報告をしていただいた。具体的な計画については、板倉地区公共交通懇話会で審議

することになるので、地域協議会からも1名委員として出ていただくことになると思う。具体的なバスの運行について決まってくれば、地域協議会へも報告させていただく。

【平井会長】

他にないか。

【小林委員】

敬老会の関係だが、私もまちづくり振興会の役員である。敬老会については振興会で総括をしているので、内容は承知していないが、行政側に報告しておかないと、また来年同じような問題が起こりかねない。組織としてきちっとやっていくようお願いしたい。

【平井会長】

他にないか。

【植木委員】

上越自転車まつりはいつごろあるのか。

【古澤総合事務所長】

7月の13日と14日である。

【平井会長】

・次回の会議日程について確認

他にないか。

(特になし)

その他については以上とする。

【古川副会長】

・挨拶

【小林次長】

以上で、第9回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。